

# 令和5年度 事業報告

令和6年度はパリオリンピック・パラリンピックの開催を控えているが、こうした国際的な競技大会におけるアスリートの活躍は、多くの勇気と感動や未来への希望を与えるとともに、スポーツへの関心を高めるものと期待される。令和3年度から本道でも開催されているパラリンピアン発掘事業「J-Star プロジェクト」（日本パラスポーツ協会主催）では、毎回、より専門的なプログラムに選考される者が複数あり、中には強化選手に指定されパラリンピック出場を目指す者もある。一方で、障がい者のスポーツ実施率向上については、その環境構築や未実施層への導入なども含め重要な課題である。競技力向上はスポーツの目的として疑う余地はないが、その水準を維持・継続させていくためには、競技人口のすそ野の拡大が重要であり、地域における身近なスポーツの環境整備と参加のきっかけづくりは、競技力向上と併せて推進する必要がある。

当協会では、本年度も、障がいのある人の健康と、スポーツを通じた心豊かなライフスタイルをサポートするため、全道各地で各種事業に取り組み、本道における障がい者スポーツの推進と参加機会の拡充に努めた。

## I 大会開催等の事業（公益目的事業1）

～障がい者スポーツの競技力向上と振興を図るための大会開催等の事業～

### 1 大会開催事業

#### (1) 第61回北海道障がい者スポーツ大会

身体障がい者及び知的障がい者が、スポーツを通じて体力の維持増進を図り、障がい者の自立と社会参加を促進させるとともに、障がいに対する道民の理解を深め、本道における障がい者のスポーツをより発展させることを目的として開催した。

本年度の大会は、9月に釧路市と釧路町の2市町で開催し、全道から約170名の選手が全2競技に参加した。当初は6競技を実施する計画であったが、参加募集の結果、団体の4競技が競技成立に必要なチーム数のエントリーがなかったことから、残る2競技のみの開催となった。

釧路市で実施した陸上競技に出場した選手数は、前回大会同様、コロナ禍以前の約半数であり、釧路町で行われた車いすバスケットボールでも、チーム編成に苦慮するチームがあるなど、依然として、コロナ禍によるブランクは、選手たちのスポーツ活動に影響を及ぼしている。

実施した2競技の会場において、前回大会で好評だったコンディショニングブースを、北海道理学療法士会の協力により設置した。これについては、今後も継続の方針である。

- 開催年月日 令和5年9月3日（日）・9月24日（日）
- 開催市町村 釧路市・釧路町・浜中町・鶴居村・弟子屈町・標茶町
- 参加人数 選手173人 引率役員等96人 合計269人

実施競技	競技会場	開催月日	参加選手数
陸上競技	釧路市民陸上競技場（釧路市）	9/3	149人
車いすバスケットボール	釧路町総合体育館（釧路町）	9/24	24人 [3チーム]

バスケットボール	浜中町総合体育館（浜中町）	9/ 3	※競技不成立
サッカー	鶴居村多目的運動広場（鶴居村）	9/ 3	※競技不成立
ソフトボール	弟子屈町宮野球場（弟子屈町）	9/24	※競技不成立
フットベースボール	標茶町多目的運動広場野球場（標茶町）	9/ 3	※競技不成立
計			173人 [3チーム]

## (2) 第43回北海道障がい者冬季スポーツ大会

障がい者が冬季スポーツを通じて、健康な心身の維持増進を図り、希望と勇気を持って社会に参加するとともに、道民の共感を呼び起こさせ、共生社会の理念の浸透を促進させることを目的として開催した。

コロナ禍等の影響により、5年振りの開催となった本大会は、平成29年度の枝幸大会と同様の、行政主体の運営ではなく、地元有志による「小樽ゆらぎの里スキー大会実行委員会」が大会を主管し、大会運営の事務局を担った。

この大会は、道内では唯一、アルペンスキーとクロスカン트리スキーの両競技を実施する障がい者スキー大会として行い、選手の障がいの程度や競技力に応じて出場するランクが選択でき、伴走者との出場も可能であることから、上級者から初心者まで参加がしやすく、重度の障がい者の参加もある。また、これまで13歳以上としていた参加資格を、今大会から全年齢対象に変更した。

特に今大会では、大会出場が初めてとなる選手も多く、不安と緊張の中、伴走者とともに完走した選手が、大きな達成感と自信を得る機会ともなり、本大会が、単に記録を競い合うだけのものではないという、開催の目的を具現化している。

■開催年月日 令和6年3月10日（日）

■開催地 小樽市

■エントリー数 選手51人 引率役員等42人 合計93人

実施競技	競技会場	エントリー数
大回転競技 (Aランク500m Bランク400m Cランク300m)	朝里川温泉スキー場	29人
距離競技 (Aランク3000m Bランク1000m Cランク400m Dランク150m)	朝里川温泉スキー場 距離競技特設会場	22人
計		51人

## (3) はまなす車いすマラソン2023

障がい者が車いすマラソンを通じて、お互いの理解と親睦を深めるとともに、希望と勇気を持って社会に参加する意欲を喚起させ、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者スポーツの振興及び共生社会の理念の浸透を図ることを目的として開催した。

夏季に開催される大会として注目される北海道マラソンと同時開催している本大会だが、本年度は午前8時に気温が30℃を超えるなど、選手にとっては厳しい環境下でのレースとなった。

ハーフマラソンは、国内のトップランナーが激しく競い合い、女子の優勝者は日本記録を達成した。札幌駅前通で行われたショートレースでは、電動車いすを使用する重度障がいのある選手も伴

走者とともに出場するなど、選手はそれぞれのベストを尽くし、各選手は札幌市街中心地を疾走する爽快感を楽しんだ。

また、大会運営に携わるボランティアや沿道の市民には、共生社会の実現をアピールする好機ともなり、障がい者スポーツに対する理解を深める1日となった。

■開催年月日 令和5年8月26日（土）選手受付・説明会／27日（日）競技・表彰式

■開催地 札幌市（日本陸連公認「はまなす車いすマラソンコース」ほか）

■参加人数 選手104人 役員等4,400人 合計4,504人

実施競技	競技コース	参加選手数
ハーフマラソン（公認コース） 21.0975 km	大通西4丁目スタート 新川西1-1（新川通）フィニッシュ	43人
ショートレース（オープン競技） 1 km・2 km	大通西4丁目スタート～南大通折り返し～ 北3条折り返し～フィニッシュ	61人
計		104人

#### (4) 競技別スポーツ大会（主催・共催）

障がい者が競技等を通じて、スポーツの楽しさを体験するとともに、健康の維持増進、機能回復を図り、参加者との交流を深めることにより、障がいに対する道民の理解を深め、社会参加の意欲の向上を図ることを目的として各大会を開催した。

本年度は、5年振りに、計画した8大会すべてを、中止することなく開催した。いずれの大会も、コロナ禍以前に比して、参加選手数が大幅に減少しているが、うち6競技は全国障害者スポーツ大会の予選会となっているため、一定の競技レベルを維持する必要がある、選手の参加意欲の回復が待たれるところである。なお、ゲートボール大会については参加チームが激減し、大会の継続が困難であることから、猿払村で開催した今大会を有終の美とし、幕を閉じることとした。

大会名・開催日・会場	参加選手数
第37回北海道身体障がい者ゲートボール大会 令和5年7月30日（日）猿払村ゲートボール場（猿払村）	38人
第38回北海道身体障がい者アーチェリー競技大会 令和5年8月6日（日）月寒アーチェリー場（札幌市）	11人
第24回北海道ボッチャ選手権大会（共催） 令和5年8月6日（日）道立野幌総合運動公園（江別市）	54人
タンデムサイクリング大会 令和5年8月27日（日）道立野幌総合運動公園（江別市）	6人
第34回北海道障がい者水泳大会 令和5年9月10日（日）平岸プール（札幌市）	55人
第29回北海道障害者フライングディスク大会（共催）（分散開催） 令和5年9月2日（土）当別町・30日（土）深川市・11月12日（日）函館市	104人
第35回北海道障がい者ボウリング大会 令和5年10月15日（日）GiGOボウル札幌手稲（札幌市）	30人
第35回北海道障がい者卓球競技大会 令和5年11月19日（日）札幌市身体障害者福祉センター	81人

## 2 大会派遣事業

### (1) 特別全国障害者スポーツ大会北海道選手団派遣

障がいのある選手が、障がい者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として派遣した。

今大会は、令和2年度にコロナ禍の影響により延期となった鹿児島大会が、特別大会として開催されたもので、北海道選手団114人を5泊6日の日程で派遣し、選手74人が個人7競技と団体1競技の計8競技に出場した。団体競技のバレーボール（聴覚）は、北海道及び札幌市の合同チームとして編成され、北海道・東北ブロック予選会を勝ち上がり、本大会出場が決定したため、当協会が派遣に係る諸業務を担った。なお、諸事情により、個人競技の選手4名、スタッフ2名が、大会前に参加を辞退している。

今派遣により、本道の代表選手が、障がい者スポーツの全国的な祭典である本大会に参加し、競技等を通じてスポーツの楽しさを体験することで、障がい者の社会参加が促進され、障がいに対する道民の理解を深められた。

#### ■強化合宿 道立野幌総合運動公園（江別市）

- 第1班 令和5年5月9日(火)～11日(木) 水泳・アーチェリー・ボウリング
- 第2班 令和5年5月16日(火)～18日(木) 卓球・フライングディスク・ボッチャ
- 第3班 令和5年5月27日(土)～29日(月) 陸上競技

#### ■選手団派遣

令和5年10月26日(木)～10月31日(火) 鹿児島県 選手74人・スタッフ40人

#### ■大会開催

令和5年10月28日(土)～30日(月)

#### ■出場競技

競技名	競技会場	出場選手数	メダル獲得数
陸上競技	白波スタジアム（鹿児島市）	27人	31個
水泳	鴨池公園水泳プール（鹿児島市）	10人	13個
アーチェリー	鹿児島ふれあいスポーツランド（鹿児島市）	2人	2個
卓球	西原商会アリーナ（鹿児島市）	10人	9個
フライングディスク	県立サッカー・ラグビー場（鹿児島市）	10人	4個
ボッチャ	指宿総合体育館（指宿市）	2人	1個
ボウリング	サンライトゾーン（鹿児島市）	6人	0個
バレーボール（聴覚）	南栄リース桜島アリーナ（鹿児島市）	7人	0個
	計	74人	60個

#### ■派遣選手選考委員会（第23回全国障害者スポーツ大会「佐賀県：R6.10.26～28」）

令和6年1月31日(水) かでの2・7会議室 出席委員12名

## II 指導者育成等の事業（公益目的事業2）

～障がい者スポーツを普及啓発するための指導者育成等の事業～

### 1 指導者育成事業

#### (1) 障がい者スポーツ競技指導者研修会

障がい者スポーツの振興と競技力向上にあたる指導者の資質と指導力の向上を図るため、障がい者スポーツ指導者を養成することにより、障がい者の自立と社会参加を促進するとともに、障がい者スポーツ環境の一層の充実を図ることを目的として実施した。

釧路地方陸上競技協会の会員を対象とした陸上競技の研修会は、釧路市民陸上競技場で2回開催した。1回目の研修会は、釧路地区中体連陸上競技大会の終了後に、2回目の研修会は北海道障がい者スポーツ大会の前日に実施し、競技規則や障害区分などについて現地で研修を行った。

車いすバスケットボールの研修会は、北海道バスケットボール連盟の都合により実施が困難となったこと、また、フットベースボールの研修会は、標茶町体育協会の審判員を対象に実施する予定であったが、9月に開催する北海道障がい者スポーツ大会の同競技が、競技不成立となったことから、いずれも中止した。

#### ■研修会実施状況

研修会名	研修実施日	研修会場	研修者数
陸上競技審判研修会	令和5年6月25日（日） 令和5年9月2日（土）	釧路市民陸上競技場	22名 25名
車いすバスケットボール 競技審判研修会	※開催中止		
フットベースボール 競技審判研修会	※開催中止		

#### (2) 初級パラスポーツ指導員養成講習会

障がい者の適性に応じたスポーツやレクリエーションの実施方法及びリハビリテーションとの関連性等について講習を行い、主として身近な障がい者に対してスポーツの喜びや楽しさを理解させるための指導者を育成することを目的として実施した。

20名が受講した本講習会は、日本パラスポーツ協会のカリキュラムに基づき、11月の3日間で、札幌市内の会場において、21時間の講習が組まれており、受講者は公認の初級パラスポーツ指導員の資格を取得できる。

初級スポーツ指導員は、障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する指導員であり、スポーツ現場におけるサポートを行う役割を担う。本道の障がい者スポーツにおいて、必要な人材の養成と資質の向上が図ることができた。受講者の今後の活躍が期待される場所である。

■開催年月日 令和5年11月10日（金）～12日（日）

■開催地 札幌市（北海道青少年会館コンパス）

■受講者数 20名

■講習内容 全21時間（講義・実技）

## 2 普及啓発事業

### (1) 障がい者スポーツ教室

スポーツに親しむ機会の少ない障がい者が、障がいの特性に応じたスポーツを生活の中に取り入れるための契機となるよう、各種スポーツのルールや基本的な技術を修得するとともに、スポーツに親しみ、多くの仲間と交流しながら、社会参加意欲の向上を図ることを目的として実施した。

本年度のスポーツ教室では、白老町発祥の軽スポーツ「ゲーリング」や「ふまねっと」などのニュースポーツから水泳、卓球等の競技スポーツまで、9の教室に延べ286名が参加した。

このスポーツ教室は、当協会が教室開催に係る経費を負担の上、地域で活動する障がい者団体や支援学校等が実施主体となり、地域のニーズに応じた競技種目に取り組む事業であり、年度当初に教室の実施団体を募集し、提出された事業計画や予算を精査した上で教室の開催を決定するとともに、教室の運営全般を実施団体に委ねている。実施団体が自発的に教室を計画し、主体的に運営することで、地域の実情に応じた事業の展開が図られている。

#### ■スポーツ教室開催状況

対象競技	教室実施日	教室会場	参加者数
卓球	令和5年6月11日	名寄スポーツセンター	70名
ボウリング	令和5年7月30日	ディノスボウル室蘭	26名
水泳(2回)	令和5年8月3日 令和5年8月20日	網走市民健康プール	17名 17名
モルック	令和5年9月2日	函館フットボールパーク	12名
健康スポーツストレッチ	令和5年11月12日	新ひだか町ピュアプラザ	19名
ボウリング	令和5年11月26日	網走ヤングボウル	31名
ふまねっと(3回)	令和5年11月22日 令和5年12月13日 令和6年1月31日	北見市総合福祉会館	13名 13名 13名
ボウリング	令和6年1月7日	帯広スズランボウル	25名
ボッチャ・ゲーリング	令和6年2月23日	登別市総合福祉センター	30名
合計			286名

### (2) 会報紙の発行

当協会の事業内容や活動状況などの情報発信を行うことを目的として、会報紙「飛躍」を隔月で年6回発行した。発行部数は500部で、当協会の賛助会員や協力団体が定期購読しており、日本郵便の承認を受けた第三種郵便物として、割安な送料で購読者に送り届けている。

会報紙は、当協会の活動に賛同し、ご支援いただく賛助会員の信用と信頼を繋ぐ大切なツールでもあり、大会開催などの各種事業を中心に、活動内容を報告するとともに、継続会員及び新規会員のご芳名は速やかに紙面において公示して謝意を表するとともに、賛助会員には会報紙を定期配送している。

### (3) ホームページの運用

当協会の活動内容や最新の障がい者スポーツ情報をリアルタイムで発信することを目的として、ホームページを運用した。スポーツ事業情報や財務諸表などの継続的なデータ更新に努め、ユーザーの多様なニーズに応えた。

ホームページは、検索性が高く、過去の情報にもアクセスしやすいツールであり、本年度もユーザーの信頼に応えるため、価値ある情報の提供に努め、最新情報のサイトでは臨場感溢れる写真を多用するなど、スポーツ参加に向けた気運の醸成を図った。

また本年度よりSNSのFacebookの活用を開始し、ホームページとの連動を図りつつ、幅広い層に対する、速報性のある広報に努めた。

## 3 団体助成事業

### (1) 障がい児者スポーツ団体助成

道内を活動拠点とする「障がい児者スポーツの振興事業を行う団体・グループ」への支援を通して、本道における障がい児者のスポーツの裾野の拡大を図るとともに、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者の社会参加の促進に寄与することを目的として実施した。

本事業は、障がい者スポーツの支援をする団体の活動がより活性化することを目的に、北洋銀行の協力を得て平成27年度にスタートし、昨年度からは道の補助金による助成も加わり、今年度は19団体に各10万円の、総額190万円を助成した。

道内で活動する障がい者スポーツ団体の多くは、法人格を持たない任意団体であり、安定的な活動資金を得ている団体は極めて少ない状況にあり、団体の機能強化を図り、選手の育成や環境整備の推進にあたっては、活動資金の支援は非常に重要である。本年度の助成による活動が完了した各団体からは、助成金を有効活用した内容の事業報告書が提出された。

#### ■助成先団体（助成額：各10万円）

No.	北洋銀行助成金	北海道補助金
1	北海道FIDバスケットボール連盟（札幌市）	シーガル・サッカークラブF.I.Dドリーム（札幌市）
2	釧路市パラスポーツ大会実行委員会（釧路市）	バラレルクラブ（旭川市）
3	特定非営利活動法人ともにK.S.C Juntos（倶知安町）	TEAM COMRADE（東川町）
4	TEAM Paramount Adventure（札幌市）	特定非営利活動法人日本障害者・高齢者生活支援機構（函館市）
5	スペシャルオリンピックス日本・北海道（札幌市）	北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ（札幌市）
6	NPO法人標津スポーツクラブすぼっと（標津町）	神威（旭川市）
7	北海道ハンディキャップ水泳連絡協議会（北広島市）	特定非営利活動法人札幌NFC（札幌市）
8	特定非営利活動法人サッポロボーイズ（札幌市）	バラ・スポinえべつ実行委員会（江別市）
9	心身障害児（者）と共に歩む会ひまわりクラブ（室蘭市）	北海道ボッチャ協会（岩見沢市）
10		一般社団法人HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS（札幌市）

### Ⅲ 管理部門

#### 1 会務状況

##### (1) 監事監査

実施日	実施場所	監査内容
令和 5 年 4 月 24 日	かでの 2・7 事務所	・ 令和 4 年度事業報告及び決算 ・ 理事の職務の執行

##### (2) 理事会

開催日	開催場所	主な議案
令和 5 年 5 月 22 日	かでの 2・7 会議室	○ 第 1 回理事会 ・ 令和 4 年度事業報告の件 ・ 令和 4 年度決算書類の件 ・ 団体助成事業に係る助成先団体の選定の件 ・ 令和 5 年度定時評議員会の招集の件
令和 5 年 6 月 17 日	書面開催	○ 第 2 回理事会 ・ 会長、副会長及び常務理事の選任の件
令和 6 年 3 月 12 日	かでの 2・7 会議室	○ 第 3 回理事会 ・ 令和 5 年度収支補正予算書の件 ・ 令和 6 年度事業計画書及び収支予算書等の件

##### (3) 評議員会

開催日	開催場所	主な議案
令和 5 年 6 月 16 日	かでの 2・7 会議室	○ 定時評議員会 ・ 令和 4 年度決算書類の件 ・ 評議員 2 名補欠選任の件 ・ 理事 10 名選任の件 ・ 監事 2 名の選任の件